



Hostelling Magazine

巻頭インタビュー

門脇 麦

旅の感動が、
わたしを支える「軸」になる。

Hostelling Magazine × **地球の歩き方**
www.arukikata.co.jp

絶景を堪能し、自然の中に飛び込む

夏のカナディアン・ロッキーで冒険旅(カナダ)

◎◎トリップアドバイザー®

カナディアン・ロッキーの人気ハイキング／人気自然ツアー／人気乗馬ツアー

Youth Hostel Pick up

酒都・西条で満喫する出会い、味わい、伝統。

広島西条駅前ユースホステル

この冊子は、**宝くじ**の社会貢献広報事業として助成を受け作成されたものです。





www.yamazakipan.co.jp

おいしいから、
いつでも一緒。



ランチパック

公式webサイト

ランチパック 検索

公式Facebookページ
www.facebook.com/lunchpack.jp

スマートフォン用アプリ **ランチパックCLUB** 検索
[Google Play] [App Store] からダウンロード

MEN'S FASHION PLUS

メンズファッションプラス

<http://mensfashion.cc>

1865.

旅先では、いつもよりちょっとだけ礼儀正しく。

知らない世界で会える人たちは
まだ、僕を知らない人たちばかりだから

3,500円相当

バッグに1枚忍ばせておくと便利！

ベージュのチノパンを
「タダ」で差し上げます。

下記 QR コード
あるいは短縮コードで
クーポンをゲット！



クーポン詳細
メンズファッションプラス WEB
ショップにてご利用いただけるプレ
ゼントクーポンです。6,000円以上
のお買い物で、写真のチノパンを1
つプレゼントいたします。

下記の URL を入力！クーポン獲得ページにリンクします

<https://goo.gl/Efwdjy>

コレ！





Vision

Principle and Philosophy

Inclusivity

世界を超えて

Learning and Understanding

考えよう

Sustainability

僕らと子ども達の未来のことを

日本ユースホステル協会はユースホステルのビジョンに基づき、日本国内にユースホステルを設置・運営すると共に、国際ユースホステル連盟や各国のユースホステル協会と協調し、知見を広める「旅」を促進する活動を行っています。

Line up

インタビュー P02

女優／門脇麦

旅の感動が、わたしを支える「軸」になる。

Youth Hostel Pick up P08

酒都・西条で満喫する

出会い、味わい、伝統。

広島西条駅前ユースホステル

Hostelling Magazine × 地球の歩き方... P12

絶景を堪能し、自然の中に飛び込む

夏のカナディアン・ロッキーで冒険旅

カナダ

■カナディアン・ロッキーでしたい7つのコト

トリップアドバイザー Presents P18

耳寄り! 観光NAVI

カナディアン・ロッキーの人気ハイキング／

人気自然ツアー／人気乗馬ツアー

教えて! 旅GIRL P20

松島むうの晴れときどき旅びより..... P21

Event Information P22

※本紙の情報は2017年6月20日現在のものです。変更になる場合がありますので、お出かけの前に現地にお確かめください。
発行所 一般財団法人日本ユースホステル協会
編集・発行人 水野 幸
TEL (03) 5738-0546
〒151-0052 東京都渋谷区代々木神園町3-1
国立オリンピック記念青少年総合センター内
※本誌掲載記事の無断転載を禁じます。
制作・印刷製本/サンメッセ株式会社

旅の感動が、
わたしを支える「軸」になる。

女優
門脇
麦



映画やテレビドラマ、CM、
人気アーティストのミュージックビデオなど、
あらゆるメディアで存在感のある演技を見せる
人気若手女優、門脇麦さん。
そんな門脇さんが、
実は生粋の「旅好き」でもあるということを
みなさんにご存じでしたか？
幼少期の家族旅行のエピソードや、
いつか行ってみたい場所、
さらには、旅を通じて得た女優としての心構えまで、
たっぷりとお話いただきました。

ヘアメイク：石川奈緒記
スタイリスト：岡本純子

- ・ワンピース ¥145,000 / ジュープバイジャッキー
 - ・ネックレス ¥17,000 / シーリアルフラワー (共にハウスオブロータス 二子玉川店)
 - ・靴 ¥49,000 / ボルタユ
- ※価格は全て税抜きとなります。

祖父母の代からアウトドア家系！ 旅の楽しみ方を教わった幼少期。

Q. 門脇さんは、どちらかというとい内向的な役柄を演じられることが多いですね。プライベートでは旅が大好きだというお話を聞いて驚きました！

祖父母の出会いが山岳部だったので、父は小さい頃からあちこちに連れていってもらったんでしょうね。父自身、スキーやダイビングなどにも夢中になっていったようで……。父と母の出会いのきっかけというか、共通の趣味もアウトドアなんです。だから、子どもの頃からアウトドア系の家族旅行にはしょっちゅう行っていました。

あと、弟が一人いるのですが、彼は完全に両親の影響を受けていて。今はバックパッカーとして世界のあちこちを回って、海外のユースホステルに泊まって旅人同士で仲良くなったり、モンゴルのゲルで1ヵ月現地の人と生活したりしているみたいです。写真家を目指しているらしくて、家族のグループLINEにもものすごい量の写真が送られてくるんですよ。

Q. その写真を見ると、うずうずしてしまいますか？

そうですね……たまに羨ましくてイラっとしちゃいます(笑)。

Q. 本当に生粋のアウトドア家系ですね(笑)。子どもの頃はどんなところに出かけていたのでしょうか？

毎年、夏は沖縄に1～2週間滞在していました。冬は雪山へ行って、スノーシュー(雪上を楽に歩くための雪上歩行具)を履いて散策をしたり。春・秋は山に登ることが多かったですね。

Q. 幼少期の旅の思い出の中でも、特に印象に残っているのは？

うーん、本当にたくさんあるけれど……沖縄の慶良間諸島にある座間味島に行ったことは特に印象深いです。船で沖の方のシュノーケリングスポットまで連れてってもらって。当時、私はまだ小学校4年生くらいだったので水深30メートルくらいの海に飛び込むのは怖くて。結局父に突き落とされたのですが(笑)。そのとき海の中を覗いたら、マンタや小魚の群れがばーっと泳いでいたんです。あの光景は、今でもとても記憶に残っています。

Q. 女優のお仕事をされるようになってからも、ご家族で旅をされることはあるんですか？

2016年の冬にオーロラを見るためにアラスカへ行きました！

出発の1、2週間前にいきなり父から「麦も行くか？」って連絡があって、本当にたまたまスケジュールが空いていたので、「じゃあ行く！」と。実は、弟が「今度オーロラを見に行く」と話していたのを父が聞いて、「あいつに先を越されてたまるか！」と急いでスケジュールを立てたようで……。そしたら、今度は弟がすでに両親や私が行った場所に行くのは癪だと思ったようで、急遽旅先を変更して南アフリカ一周してましたね。

Q. 本当に仲の良いご家庭で羨ましいです(笑)！オーロラは無事に見られましたか？

毎晩ばっちり見られました！でも、オーロラを見るのが目的で旅行をするのは日本人だけらしくて。宿泊先のロッジの方がお客さんの8割は日本人だと言っていました。

「帰る場所」がたくさんある 大人になりたい。

Q. 門脇さんにとって、「旅の醍醐味」とは何でしょうか？

旅先での人との交流も、楽しみのひとつです。私、普段は人見知りなんですけど……、多分これは「人見知りあるある」だと思うんですけど、知らない人には全然積極的に話しかけられるし、ちょっと仲良くなっちゃうんです。新幹線で隣に座ったおじさんと仲良くなれる、みたいな……(笑)。

Q. 旅先での印象に残っている交流エピソードを教えてください！

小学生の頃、毎年夏に行っていた座間味島で暮らしている「ナカムラさん」というおじちゃんが好きで、そのおじちゃんに会うために毎年行っていました。ナカムラさんの元へ訪れると、毎回「おかえりー」と私たちを出迎えてくださっ



奄美大島に行った時の写真

て。それで、毎晩私たち家族や他の旅行者の方々が集まってゆんたく(おしゃべり)をして、大人たちはお酒を飲んで、子どもたちはきゃっきゃとはしゃいで遊び回って。2週間くらい滞在すると、現地の方々やお客さんとすごく仲良くなるから、いつも別れるのが寂しかった。別れ際にみんなとお手紙交換をして、おいおい泣いていました。

この座間味島のように、ふるさとではないんだけど「帰る場所」がいくつもあると、旅つてより一層楽しいんじゃないかなって思います。そういう場所がいっぱいある大人になりたいんですよね。

その土地でしか食べられない 美味しいもの探しも、旅の醍醐味。

Q. 門脇さんは、食べることも好きそうですね。

そうなんです。旅先の、その土地で獲れたものを食べるのがすごく好きで。例えば、山ならジビエ、海なら魚。子どもの頃には、岸に流れ着いたキビナゴをその場でさばいて食べたりしたこともありますよ。そういう経験って、不思議と今でも覚えているものなんですよ。

自分で料理をするのも好きです。2016年の夏にお仕事で佐賀の唐津に1ヵ月くらい滞在したんですけど、本当に周りになんにもなくて、ホテルにもキッチンが無いからすごくストレスが溜まっちゃって。でも、自転車で30分くらいのところにスーパーマーケットがあることが分かって、行ってみたらお肉の鮮度がものすごく良くて。東京では手に入らないようなおいしそうな豚肉や鶏肉を生で買ってきて、ホテルの湯沸かし専用のIHヒーターを使ってひたすら茹でて食べたりしていました。もう、最高でした。それを見つけてからは、「もう帰りたくない」って思っちゃうくらい幸せな毎日でした(笑)。



山の上から奄美大島全体を見渡しました

Q. 家族で旅行に行ったときも、よくキッチンで自炊をなさっていたんですか？

たしかに、キッチン付きの宿泊施設に泊まることも多かったんで、旅行先ではよく料理をしています。キッチンが使える宿に泊まると、そういう楽しみ方もできますよね。

Q. ユースホステルにもキッチン付きの施設がたくさんあるので、ぜひ利用してみたいと思います(笑)。

旅の感動が、自分自身の「軸」になる。

Q. ここ最近で出かけた場所はありますか？

最近はお仕事の都合でなかなか長期間のお休みが取れないのですが、2年前、1泊2日で八ヶ岳に行ってきました。地上から見たときにシルエットが素敵な山って、やっぱり登りたくなりますよね。

Q. そういう観点で山を眺めたことがなかったです……(笑)。ちなみに、今まで登った山の中で、特におすすめの山はどこでしょうか？

赤岳(八ヶ岳連峰の最高峰。標高2,899m)は最高でした！赤岳のシルエット、大好きなんです。片道6時間ぐらいで山頂に行けるので、登りやすいです。

Q. 片道6時間って、なかなか大変なような……。

車で結構上の方まで行けるので、全然登れると思いますよ！あと、宝剣岳(木曾山脈2番目の山)も楽しかったです。道がひたすら険しい岩場なので、足を一歩踏み外せば事故になりかねないような状況がずっと続くんです。なかなかスリルがありますよ。

Q. 幼少時代から山の英才教育を受けてきたという感じがすごく伝わってきます(笑)。

いえいえ。日頃から登山されている方々に比べたらたいしたことはないです。

でも、山の上に登って、山頂から朝日が昇ってくるのを見て、「わー——い!!」と心の底から湧いてくる感情が私自身の「軸」だと思っていて。それは昔も今もずっと変わらないですね。この軸があるから、重い役や難しい役を演じても気持ちを切り替えられるし、うまくバランスが取れるのだと思います。

子どもの頃に山の上から朝日や夕日、雲海を眺めたり、海

の中からマンタやキラキラ輝く小魚の群れを見たりしたときの感覚っていうのは、自分の中でものすごく大きくて。「嬉しい」とか「楽しい」という感情じゃなくて、「うわああ」って魂が揺さぶられるというか……。こういう経験ってなかなかできることじゃないですし、大人になっていくにつれて、ますます減っていくと思うんです。結局、人って、昔感じた「うわああ」をもう一回感じたくて、旅に行っているようなところがあるんじゃないかなあ。

仕事で「なんだかちよっと疲れたな」「ちよっとしんどいな」ってときに、その感覚を思い出すと、純粋な感情がフワフワと浮かんで来て、浄化してくれる。そういう意味では、小さい頃からの旅の経験は、自分の中で大きいですね。

旅に出るのに理由はらない。 必要なのは、「勢い」と「ノリ」!

Q. もしもまとまったお休みが取れたら、今行ってみたい場所はどこですか?

国内なら、今行きたいのは「^い祖谷^渓 (※徳島県三好市に位置する深いV字型の谷が続く渓谷。渓谷にはエメラルドグリーン色の祖谷川が流れている)」ですね。

あと、海外なら東南アジアかな。おいしいもの巡りはもちろん、タイやベトナムの段々畑を見に行ってみたいです。

Q. 旅行の情報はどうやって収集されているのでしょうか?

旅行が好きな人に会うと、「どこが一番良かった?」と必ず聞きますね。今まで聞いた中だと、スロヴェニアがすごく良いと聞いたので、スロヴェニアにも興味津々です!街並もすごく可愛いし、マルシェにも行ってみたい!

あとは、今はSNSが発達しているので、Instagramで旅行にいっぱい行っている人を調べてフォローしておく、旅先の写真が投稿されるので、その写真を見ながら「ここ、良いな」って思ったら調べて、ストックしてあります。だから、行きたいところがどんどん増えていきます……(笑)。

Q. ニューヨークやロンドンみたいな都市にはあまり興味は無いのでしょうか?

ニューヨークは、以前ダンスをやっていたときに、ダンススクールに行ってみようと思って訪れたことがあります。でも、大都市に行くなら短期間の旅行ではなく、住んでみたい。地元のスーパーとかにも行くような旅。大人になったら、そういう旅もしてみたいですね。都会に限らず、田舎の街とかにも住んでみたいなあ。



Profile

門脇 麦

1992年8月10日生まれ、東京都出身。2011年にデビュー後、東京ガスのCM「ガスの仮面 MASK OF GAS」で披露したクラシックバレエで注目を集める。ヒロイン役に抜擢された『愛の渦』(14/三浦大輔監督)が大きな話題を呼び、2014年第6回TAMA映画賞最優秀新進女優賞、2015年第36回ヨコハマ映画祭日本映画個人賞最優秀新人賞、2015年第88回キネマ旬報ベスト・テン新人女優賞などを受賞。『二重生活』(16/岸善幸監督)では初の単独主演をつとめ、更なる活躍が期待される若手女優の一人。主な出演作に、NHK大河ドラマ「八重の桜」(13)、NHK連続テレビ小説「まれ」(15)、『太陽』(16/入江悠監督)、『オオカミ少女と黒王子』(16/廣木隆一監督)、Netflixオリジナルドラマ『火花』(原作:又吉直樹/廣木隆一総監督)、『彼らが本気で編むときは、』(17/荻上直子監督)など。今後は、4月期TBS金曜ドラマ「リバーズ」が放送中のほか、『世界は今日から君のもの』(7月15日/尾崎将也監督)、『ナミヤ雑貨店の奇蹟』(9月23日/廣木隆一監督)の公開が控えている。

Q.「旅をする」ということに対してきっかけがつかめなかったり、億劫だと思っている人に対してアドバイスをするなら、どんな言葉をかけますか？

「勢い」と「ノリ」!この2つは大事。「明日休み?じゃあ行っちゃお!」みたいな感覚って、すごく良いと思います。私も以前、友人とたまたま丸1日だけ休みが被ったときに、「何がしたい!?!」「砂漠が見たい!」という話で盛り上がり、その日の深夜バスに乗って鳥取砂丘まで行ったことがあります。それで、砂丘を見て、寝台列車に乗って帰ってきました(笑)。旅って、時間がなくても意外と楽しめるんですよ。「行く」ってことだけで、もう旅行の半分の役割は占めている気がする。旅行慣れしている人は違うかもしれませんが、あんまり旅行に行き慣れてない人は、きつと行っただけでも世界がパッと開けると思うんです。「意外と簡単じゃん!」って。電車に乗って、1~2時間経ったら本当に全然違う景色が見られるし、駒ヶ岳だって東京からバスで3時間半ですからね。

「+α」の介在価値を、
作品に還元できる女優でありたい。

Q. 今後、「こんな作品に出てみたい」「こんな役柄を演じてみたい!」という思いはありますか？

そういったこだわりは、日に日に無くなっていますね。このお仕事を始めたばかりの頃は、色んな監督が「この子のここを引き出そう」と、私を抱き上げてくれました。今もそれは変わらないのですが、当時の私はそこだけに頼りきって仕事をしていて。とても余裕が無かったし、自分のことでいっぱいだったので、役柄を演じるときに周りが見えなくなるという状態が3~4年続いて。でも、最近は、自分にしか向いていなかった矢印が、だんだん外に向き始めてきているんです。自分の役がどうこうじゃなくて、「ああ、今この現場、楽しいな」と感じられるかどうかが一番大切になってきて、自分自身の変化を実感しています。初めての現場、初めての座組だったら、そこで、初めて築いていく関係性も楽しいですし、何回か呼んで頂いている座組だったら、また皆さんとご一緒できるのが嬉しいし。矢印が外に向いている方が、より自分にもストイックになれる。だから、今までのように「この子のために何かしてあげよう」と抱き上げてもらうだけの立場ではなく、これからは+αで少しでも作品に返せるようなポジションになれば良いなと思っています。



Q. 今回門脇さんがヒロイン・尚美役を演じられた、6月17日に公開の映画『こどもつかい』の現場はいかがでしたか？

特殊撮影をふんだんに取り入れた作品に出演するのが今回初めてだったのですが、他の作品ではできないこと、ホラー映画にしかできないことがたくさんあって、ものをつくるのが大好きな人たちがホラーに集まる理由はここにあるんだなというのを実感した現場でした。

Q. 門脇さんが、本作に出演したいと思った決め手は何だったのでしょうか。

監督の清水さんは、『呪怨』で日本のホラーのクオリティの高さを世界に広めた方なので、ぜひ一度、監督と一緒に仕事がしてみたいと思ったんです。

ただ、実は私、ホラー映画は大の苦手な人で、この『こどもつかい』以外観たことがなくて……高校時代、文化祭のお化け屋敷で腰を抜かしてしまったことがあるくらい恐がりなんです(笑)。でも、『こどもつかい』は台本を読んだ時点から、単純なホラー映画というよりはそれぞれの登場人物にドラ

マがあって、物語として面白いと感じました。あと、ちょっとクスって笑えるコメディな部分もあるし、シュールな部分もありますし、でも怖いところはちゃんと怖くて、すごくバランスが良くて、いろんな方面から楽しめる映画だな、という印象を受けました。

Q. 今回、清水監督と一緒にやられて、その清水監督の印象っていかがですか？

ちょっと口が悪いけど(笑)、人一倍愛情がある方です。ホラー映画にも、この作品にも、現場にも、役者にも。清水監督ご自身が、まるでこどもみたいな人なんですよ。こどもが粘土とかにハマると、とことん粘土で遊び続けるみたいな。役者が映るカットの10倍くらいの時間をかけて、特殊映像を使ったシーンを夜中遅くに撮ったりしている人です(笑)。きっとそれが本当に好きでやってるんだろうな、とこちらにも伝わってくるのが素敵だと思いました。

こどもつかい

おまえがしたこと、
ボクらはぜったい
忘れない —

新人記者の駿也は、郊外で起こった連続不審死事件を追ううちに奇妙な偶然に辿りつく。小さなこどもが失踪した3日後に、その周りの大人が死んでいるのだ。死んだ大人たちはこどもに怨まれていたという。街の人々の間に広がる、“こどもの呪い”の噂。これは人の手による殺人なのか？ それとも呪いなのか？ 失踪し、戻ってきたこどもたちが口ずさむ歌に事件解決の糸口を見出した駿也は、先輩記者からの忠告も聞かず、取材にのめり込んでいく…。

『こどもつかい』

6月17日(土)より全国ロードショー

滝沢秀明 有岡大貴 (Hey! Say! JUMP) 門脇麦 他
監督：清水崇

©2017「こどもつかい」製作委員会

Making scene



Q. 尚美は『こどもつかい』のストーリーの鍵を握っている重要な役柄ですが、演じる上でこだわったポイント・難しかった点をお聞かせください。

私は「尚美の過去のあるトラウマと、彼女がどのように対峙していくか」ということで物語が進んでいくドラマ部分を担っていたので、ホラーではあるし、ファンタジーでもあるけれども、そこにちゃんと共感できるかどうかを大事にしないと元も子も無くなってしまおうと思い、「リアリティ」を心がけて演じました。

Q. 最後に、『こどもつかい』の見所を教えてください！

ドラマパート、ホラーパート、そして、作り込まれたファンタジーな世界観を楽しんでいただけたらなあと思います。滝沢さん、有岡さんをはじめとする出演陣のファンの方々はもちろん、ホラーが大好き、清水監督の作品が大好きな方にも楽しんで観ていただける作品ですよ！



門脇 麦さん直筆サイン入り

ノベライズ『こどもつかい』(講談社タイガ刊)

抽選で3名様にプレゼント!

応募は日本ユースホステル協会ホームページの
専用お申込みフォームから!
<http://www.jyh.or.jp/hm/>

■ 応募締切 2017年8月末日

※なお、当選発表は、商品の発送を以てかえさせていただきます。







つづきをダウンロード（無料）



Hostelling Magazine vol.9
 まとめてダウンロード




トリップアドバイザー Presents P18
 耳寄り! 観光NAVI
 カナディアン・ロッキーの人気ハイキング/
 人気自然ツアー／人気乗馬ツアー




インタビュー P02
 女優／門脇麦
 旅の感動が、わたしを支える「軸」になる。



教えて! 旅GIRL P20




Youth Hostel Pick up P08
 酒都・西条で満喫する
 出会い、味わい、伝統。
 広島西条駅前ユースホステル



松島むうの晴れときどき旅びより P21



Hostelling Magazine × 地球の歩き方... P12
 絶景を堪能し、自然の中に飛び込む
 夏のカナディアン・ロッキーで冒険旅
 カナダ
 ■カナディアン・ロッキーでしたい7つのコト



Event Information P22